

システム化粧柱 クレシス (105角柱用)

■設計施工時の注意

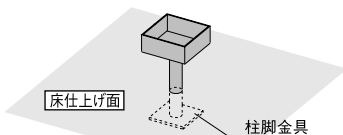


- 装飾材ですから、構造材としてはご使用できません。
●荷重は中芯にかかるように施工してください。
●柱脚金物は、現場サイドで調達してください。

■施工要領

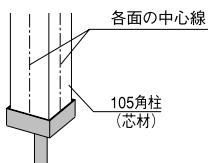
①取付け下地

取付け下地は105角材を使用してください。天井面・床面仕上げ後に施工してください。柱下部は柱脚金具（現地調達）を使用してください。



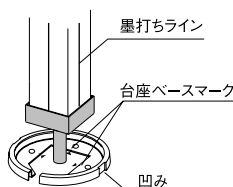
②柱の墨打ち

105角柱四面の中心に墨を打ってください。



③台座ベースの取付け

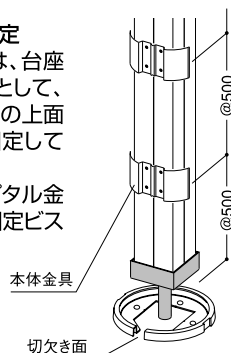
柱の墨と台座ベースのマークを目安に、付属の台座ベース固定ビスで、台座ベースを床面に固定してください。この時仕上がり時の縦目地ラインを台座ベースの凹み側に合わせてください。



④本体金具・キャピタル金具の固定

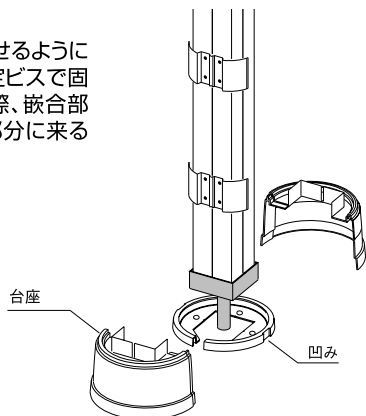
本体金具の柱の取付け位置は、台座ベースの切欠き面と同じ方向として、その取付け位置は台座ベースの上面より500mmピッチでビスで固定してください。

また、天井面の柱四隅にキャピタル金具を当てて、キャピタル金具固定ビスで固定してください。



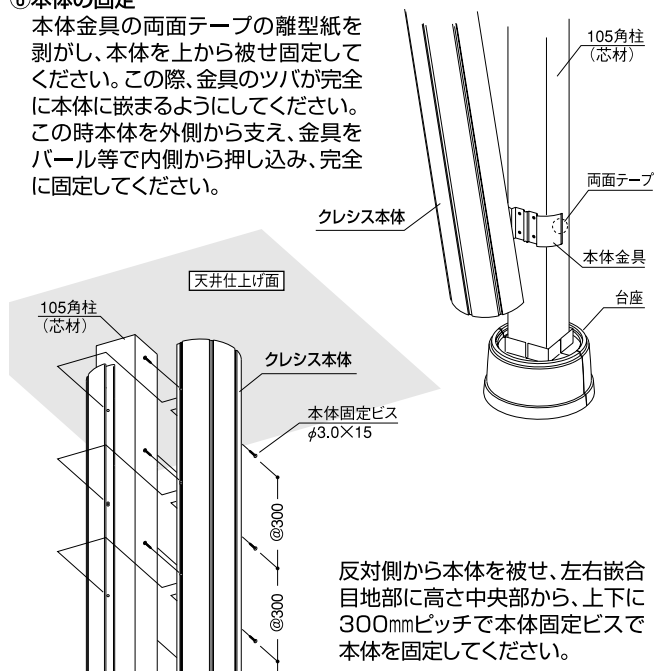
⑤台座の固定

台座を台座ベースに被せるように嵌合し、台座ベース固定ビスで固定してください。この際、嵌合部分が台座ベース凹み部分に来るようにしてください。



⑥本体の固定

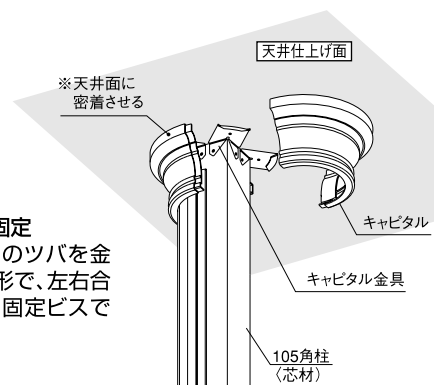
本体金具の両面テープの離型紙を剥がし、本体を上から被せ固定してください。この際、金具のツバが完全に本体に嵌まるようにしてください。この時本体を外側から支え、金具をバール等で内側から押し込み、完全に固定してください。



反対側から本体を被せ、左右嵌合目地部に高さ中央部から、上下に300mmピッチで本体固定ビスで本体を固定してください。

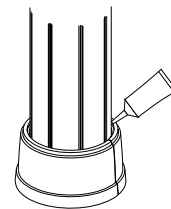
⑦キャピタル金具の固定

キャピタルの上部のツバを金具に掛けるような形で、左右合わせてキャピタル固定ビスで固定してください。



⑧仕上げ

台座と柱の嵌合目地にボンドブレーカーを差し込み、コーキングで充填してください。



⚠施工後の注意事項

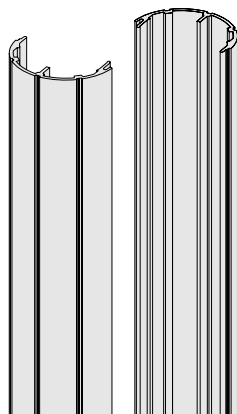
- 施工後は製品が傷つかないように、全体を養生してください。
- 有機溶剤（アセトン・ケトン・エステル等）が触れると、製品が溶けますので、使用しないでください。
- 一般的な使用では傷はつきませんが、金槌等で叩いたり、ナイフで削ったりしないでください。（傷がつきます。）
- ライターであぶったり、近くで焚き火等をしないでください。（熱で製品が変形します。）

■お手入れの方法

- 汚れた場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い落としてください。
- 清掃の際は、布やスポンジなどのやわらかいものを使用し、ワイヤブラシ・金属性タワシ・金ペラ等は使用しないでください。

■構成部材

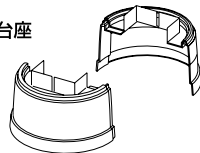
●本体



●キャピタル



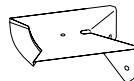
●台座



●本体金具



●キャピタル金具



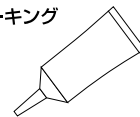
●台座ベース



- 本体金具固定ビス (φ3.0×15 24本)
- キャピタル固定ビス (φ3.0×15 4本)
- 本体固定ビス (φ3.0×15 18本)
- キャピタル金具固定ビス (φ3.0×15 8本)
- 台座固定ビス (φ3.0×15 4本)
- 台座ベース固定ビス (φ4.0×25 3本)

●ボンドブレード
(φ6.0×800 1本)

●コーキング

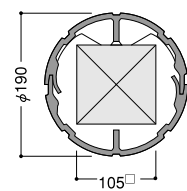


●施工説明書

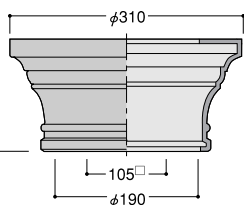


■製品図 S=1/10

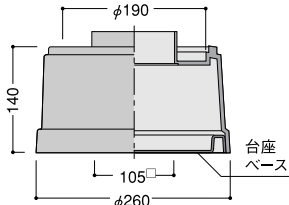
●本体



●キャピタル

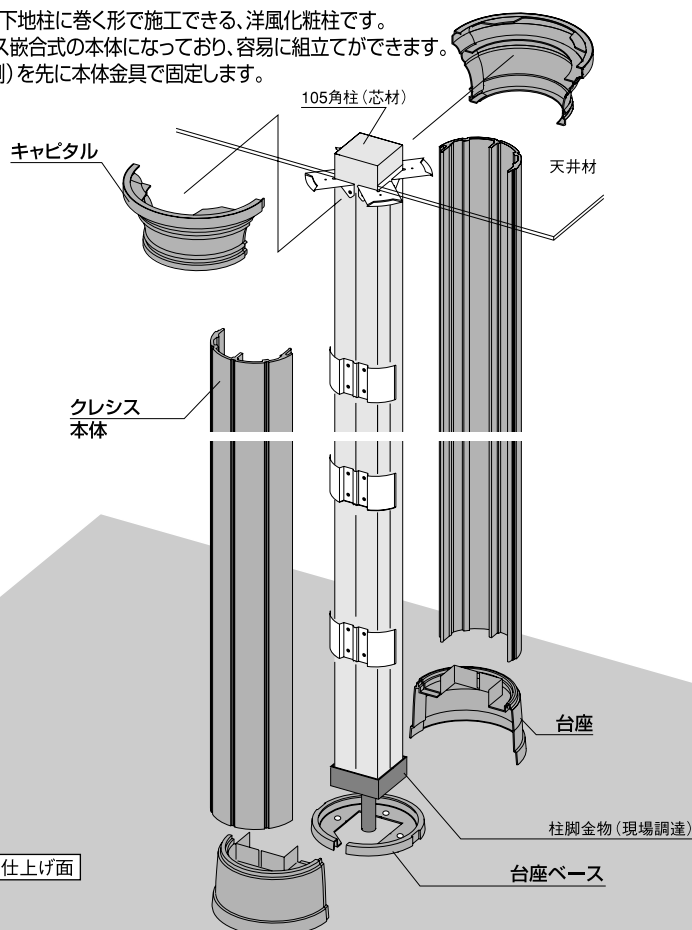


●台座



■施工イメージ

- 105角の下地柱に巻く形で施工できる、洋風化粧柱です。
- オス／メス嵌合式の本体になっており、容易に組立てができます。
- 本体(片側)を先に本体金具で固定します。



■参考納まり図 S=1/15

※芯材寸法は、それぞれ±5mm程度までの公差で対応可能です。

